

# 尚和会会報 2005

平成17年5月1日

想い出とともに拡がる同窓の輪



## 尚和会総会のごあんない

平成17年5月15日(日)受付11:30~

ホテルアイボリーにて (豊中駅東口すぐ ☎ 06-6849-1111)

- 総会 ..... オーキッドホール 12:00~12:30
- 立食パーティー ..... オーキッドホール 12:45~15:00
- アトラクション ..... 日比浩一

### bingoゲーム

#### 日比浩一プロフィール

当校卒業生(高32期)1984年京都市立芸術大学音楽学部卒業、同時に音楽学部賞を受賞。その後神戸室内合奏団(現・神戸市室内合奏団)ソロ・ヴァイオリン奏者、関西フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターを経て、2001年4月より名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター。これまでに神戸室内合奏団、テレマン室内管弦楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団と共に演奏したのははじめ、京都、大阪、神戸でリサイタルを開催。NHK-FMにも出演した。また、京都フィルハーモニー室内合奏団客員コンサートマスター、ザ・ストリングス名古屋、井上まゆみピアノトリオ、アンサンブル・ベガのメンバーとしてなど、幅広い演奏活動を行っている。第32回全国学生音楽コンクール西日本大会第2位。

ヴァイオリンを江口邦子、(故)篠原虎一、岩瀬龍太郎の各氏に、室内楽を柿原ひまり、岸邊百百雄の各氏に師事。

大阪成蹊短期大学非常勤講師、(社)日本演劇連盟、宝塚演劇家連盟会員。



- 会費 ..... 4,000円 (2001年以降の卒業生2,000円)

## Contents

尚和会会長・学校長ごあいさつ	(2)
学校だより	(3)
母校クラブだより	(4)
教職員人事異動・役員紹介・各期連絡先	(6)
通学路点描	(7)
尚和会決算・予算報告	(7)
尚和会通信	(8)
同期会報告	(9)
第4回尚和会東京支部総会・懇親会	(13)
同期会予告	(13)
お便りから	(14)
物故者芳名簿	(15)
平成16年度会報代・協力金	(16)
平成16年度総会・懇親会	(18)

発行 尚和会

発行責任者 田中 渡

編集責任者 大島 光昭



実習と理論の解説等、普段の授業とは異なる新しい試みもいくつか導入し、大変好評でした。生徒にとつて「新鮮で、非常に刺激を受ける。真剣で、楽しい授業」を行うことができました。

昨年度の部活動では、バドミントン部と剣道部女子が全国大会、近畿大会に出場。バレーボール部男子・女子各

大阪大会三位。囲碁部女子近畿大会三位。生徒秋季発表大会では、書道の部で定通教育振興会賞、定通教育研究会賞を受賞。工芸の部及び芸能発表の部で、各奨励賞を受賞等、活躍しました。

この四月には、四年制課程の男子二十四名、女子九名、三年制定通併修課程男子八名、女子十二名、合計五十三名が尚和会の会員に加えていたところになりました。今後ともよろしくお願い致します。

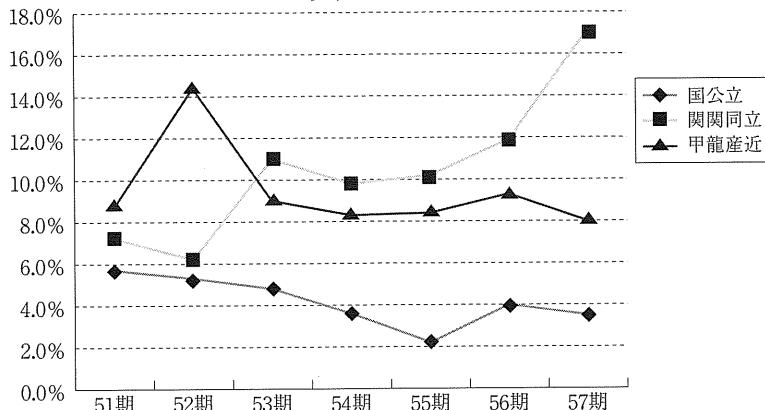
## 学校だより

進路指導部長 松井 常喜

本年度は国立大学の法人化など様々な改革の法改正が実施されました。また、各大学は国公私立を問わず、従来の入試制度の変更だけでなく、学部・学科の組織再編成など、大学内部側からの改革も多方面にわたり実施しています。本年度入試から、大阪府立大学・大阪女子大学・大阪府立看護大学の三校が大阪府立大学として再編統合されました。大学の判断基準は偏差値だけでなく、各大学がどの程度の教育力を備えているかという点が重要な要素になる時代になりつつあります。

今年の卒業生五七期生（三一〇人）

現役生の進学率



の進路状況ですが、八割以上の生徒が四年生大学への進学を希望しています。最近の生徒の進学先は従来の文系・理系学部に加え体育系・芸術系・福祉系など多様化していますが、希望者の七割、全体の六割の生徒が「関関同立」「甲龍産近」を受験しています。実際の進学先はグラフに示されている通り、五三期で「関関同立」の進学者数が「甲龍産近」の進学者数を上回りました。そして、今年は「関関同立」の進学者数が大きく増加しました。久しぶりの大坂大学理学部への現役進学者一名も含め、グラフに示す大学へ約九〇名が進学しています。大学名だけでは判断できませんが、進学実績は着実に向上しています。

ただ、進学後に他の学校を受験するなど進路変更をする生徒も増加しているのも事実です。冒頭に書きました

通り、大学も大きく変わろうとしています。単なる出口を決定する進路指導ではなく、努力すれば実現できる環境のなかで、本当に勉強したいものは何かを一年生の時から考えさせる進路指導を実践していきたいと考えます。

## 五十七期生とともに歩んで

第三学年主任 荒西 克招

「五十七期生は皆心優しく、何事にも熱心に取り組む事ができ、ここぞという時のふんぱりやパワーは本当に素晴らしいものでした」（答辞より）

つい一週間前の卒業式を思い出し

通り、大学も大きく変わろうとしています。単なる出口を決定する進路指導ではなく、努力すれば実現できる環境のなかで、本当に勉強したいものは何かを一年生の時から考えさせる進路指導を実践していきたいと考えます。

この力が夏以降、勉強にも現れ、担任や教科の先生方の補習、講習などに生かされていきました。

そして迎えた卒業式。答辞の中での一組から順に担任への三十秒メッセージに心優しい桜塚生の伝統を五十七期生もしっかりと引き継ぐ者であること



ながらこの文章を書いています。

五十七期生は男子の志願者が多く、入学者も男子が十六名多い学年でした

（桜塚高史上、初？一クラス多かつた五十六期と男子の人数は同じ）。大

島」、八重山諸島に行つて来ました。

変元気がよく、幼い所もあり、時には狭い教室に収まり切らないほどパワフルで、「沢山叱られ」（答辞より）た

反面、大変素直で、私たちの指導によく応えてくれ、骨は折れるが、やりがいのある学年でした。また、私たち自身が試された学年でもありました。若

い諸君のパワーを全身で受け止め、夢中で取組み、気がつけば卒業式を迎えていたという感じがしています。

思い出は入学式以来、数々あります。一年の球技大会や合唱コンクール、二年の石垣・西表への修学旅行、文化祭、体育祭。日々の授業や終礼、ホームルームなどでの一コマ一コマ…。

中でも圧巻だったのは三年の体育祭です。爽やかで日一杯手抜きなくとことんやるのが五十七期流とばかり、その持てる力を全てぶつけ、ブロック

カラーや衣裳、旗、踊りなどにテーマの一貫性があり、見事でした。「体育祭で一番感動的だったことがあります。それはお互いのブロックのパフォーマンスを讃え合っていたということです」（答辞より）

この力が夏以降、勉強にも現れます。それはお互いのブロックのパフォーマンスを讃え合っていたということです。

沖縄方面と言つても、沖縄本島は中学の修学旅行で行つた生徒もおり、本校では八重山諸島の石垣島を中心

に、毎日フェリーで西表島・竹富島・小浜島・嘉弥真島・由布島などに渡り、それぞれの島で楽しく体験学習を実施しました。

今回は「バスに乗つて観光地巡り」という古いパターンの修学旅行ではなく、那覇国際通りでの昼食と買い物、

## 「ぱいぬ島」の修学旅行

第一学年主任 村尾 亮

昨年の十二月、五十八期生は修学旅行でサンゴ礁に抱かれた「ぱいぬ（南）

島」、八重山諸島に行つて来ました。

ここ数年の本校の修学旅行先を見てみると、五十三期生が北海道、五十六期生がシンガポールだったことを除くと沖縄方面が多かつたようです。も

つとも五十五期生は沖縄に行くつもりで準備を進めていたのですが、アメリカでのテロ事件により急遽ディズニーシーと横浜方面に変更になりました。

私たち五十八期生も最初は五十六期生にならって、中国・韓国など海外への修学旅行を考えていましたが、折

悪くSARSと鳥インフルエンザ騒ぎが起きて残念ながら海外はあきらめることになりました。

竹富島でのレンタサイクルによる島内巡り、石垣島の離島桟橋からホテルまでの散策など、生徒の自主性に任せた自由行動の時間が多くありました。実際バスに乗つてのクラス単位での行動は、石垣島の島内観光で三時間ほどだけでした。なかでも最終日の夕食はホテルの都合もあり、ミールクーポンを使ってホテル内の五つのレストランで好きな時間に好きなものを自由に選んでとるという形式で、生徒にも大好評でした。

このような形態の修学旅行であつたため、生徒全体を集めて連絡や注意をするというタイミングがあまりなく、必要なことはすべて出発前の説明会と生徒自身が「しおり」を隨時参考するということで済ませました。生徒たちはこの趣旨を良く理解して行動してくれたと思います。

体験学習は「ダイビング・シュノーケリング」（全身ずぶ濡れ）、「カヌーによるエコツアーア」（半身水没し）、「ヤングルクルーズと水牛車」（全く濡れない）と、生徒の希望により三コースに分かれて実施しました。それぞれ現地のインストラクターの親切な指導もあり、生徒達は貴重な体験をしてくれたことと思います。

強風と雨のため石垣空港に着陸できず、飛行機が三十分も旋回し続けたこと、西表島への高速フェリーが荒波にもまれ、多くの生徒が船酔いになつたことなど、天候による多少のアクシデントもありましたが、予定を変更しなければならないほどのこともなく、今となつてはそれも楽しい思い出の一部として、生徒達の心に残つていることと思います。

## 野球部の近況

顧問 和田 充司

二〇〇四年度になり、迎えた春季大会において、八尾に8対3、茨木に4対0、大教大池田に6対0、上宮に11対3（八回コールド）と、いずれも快勝し、ベスト8進出を果たしました。準々決勝の相手は、六年前の夏に決勝で敗れた関大一高でしたが、5対2で完敗。雪辱はなりませんでした。

そして、五十七期生最後の大会となる夏の大阪府予選では、初戦の枚方西に10対0でコールド勝ちし、次の相手はまたしても関大一高となりました。今度こそはの思いで臨んだ試合でしたが、結果は7対0で無念のコールド負け、であります。

夏休みから、新チーム（二年十九名、一年十五名）での練習をスタートさせ、京都府峰山町での合宿や練習試合を重ね、九月の秋季大会を迎える。ここでは、初戦でいきなり東海大仰星との対戦となり、中盤までは何か食らいついたものの最後は突き放され、9対2で八回コールド負け。

こうして改めて一年を振り返つてみると、やはり私学の壁は厚い、と感じざるをえません。また、大勝するか大敗するか、という結果に終わつておらず、どんな相手でも接戦にもちこめる（そしてそれをものにできる）ような、チームの意識改革、体质改善が急務であることも浮かび上がります。

就任以来、「普通の高校生がどこまでできるか」をテーマに、取り組んできました。そのために、まず、普通の部員には思つてほしくありません。何より、部員には思つてほしくありません。

## 母校クラブだより

桜塚高生であることを部員達には常に求めています。そして、そんな中でそれなりの、ある程度の成果は残せた、

とは思っています。しかし、「ここまで」とは思いたくありません。何より、

部員には思つてほしくありません。

ONE STEP BEYOND（もう一步向こうまで）を目指します。

## ラグビー部

顧問 渡辺宗治郎

ラグビーに賭ける熱意がみなぎり、個性派ぞろいの五十八期生と球技センター役をこなすマネージャー達によつて日々充実した活動を実践している。

昨年からのメンバーが多いこのチームは、経験豊かでゲームの組み立てが上手なのが魅力である。

また、北摂の各チームから注目される存在にあり、この夏は大きく進化成長することが期待される。

短時間の制約の中、高橋キャプテンと佐々木バイスのリーダーシップの下で常にゲームを意識して練習に無駄を省くこと、また状況判断できるコンセプトを挙げることで選手自身が明確な目標を持って練習に取り組んでいます。

日頃は気の良いやさしい男達がゲームでは豹変する様は実にラグビースピリッツそのもので、頗もししさを感じる。今後は得点力の向上に努め、プレイヤー自身も見ている者も楽しいラグビーを目指し、強豪と言われる一角を倒すために実戦練習ができるだけの部員確保が課題である。

## 陸上部

マネージャー 木岡 静穂

桜塚高生であることを部員達には常に求めています。そして、そんな中でそ

れなりの、ある程度の成果は残せた、

とは思っています。しかし、「ここまで」とは思いたくありません。何より、

部員には思つてほしくありません。

名、マネージャー二名「笑顔で練習」をモットーに毎日放課後練習しています。陸上部は男女共に仲が良くみんなで日々励まし合いながら頑張っています。昨年五月に行われた地区予選ではそれがベストを尽くしました。私たちが目標としている「自己ベスト」は達成できましたが、結果は惜しくも2時間30分の集中練習になつた。

女子のクラブは指導者がコートにいる時と、いない時では様子が一変す

るものだが、このチームは違つたよう

に思う。それは、やらされる練習に終始していれば、二つの顔が交互に出る

ものが、このチームは自分の目標を

自力で達成しようとしたので裏表が無

かつたのではないだろうか。

五十七期生が自分たちの代になつてから、大阪總体で万根山高校にワナサイドで負けるというスタートを切つたに

から、大阪總体で万根山高校にワナサイドで負けるというスタートを切つたに

## 女子バレー部

顧問 津田 康裕

五十七期生はよくがんばった、

他校と比較して、一時間あまり少

ない時間で、中味のある練習を続

けた。昼練習も自主練習の形態でスター

トしたが、勝つ意欲が定期的な練習へ

と移行した。たつた三十分しかない

が、一つのスキルを五日間続ければ、

二時間三十分の集中練習になつた。

私たちが目標としている「自己ベスト」

は達成できましたが、結果は惜しくも

2で完敗。雪辱はなりませんでした。

近畿大会出場を逃がしました。しか

し、私たちには「近畿大会出場」とい

う新たな目標ができました。八月には

鳥取に合宿に行き、過酷な練習に励み

ました。

先輩方の引退後、十一月、一月には

駅伝がありました。昨年までは女子長

距離のメンバーがいませんでしたが、

今年から女子長距離のメンバーが増え、

女子も駅伝に参加することができます

。今年から女子長距離のメンバーが増え、

距離のメンバーがいませんでしたが、

今年から女子長距離のメンバーが増え、

女子も駅伝に参加することができます

。今年から女子長距離のメンバーが増え、

距離のメンバーがいませんでしたが、

今年から女子長距離のメンバーが増え、

女子も駅伝に参加することができます

## 女子バレー部

顧問 津田 康裕

五十七期生はよくがんばった、

他校と比較して、一時間あまり少

ない時間で、中味のある練習を続

けた。昼練習も自主練習の形態でスター

トしたが、勝つ意欲が定期的な練習へ

と移行した。たつた三十分しかない

が、一つのスキルを五日間続ければ、

二時間三十分の集中練習になつた。

私たちが目標としている「自己ベスト」

は達成できましたが、結果は惜しくも

2で完敗。雪辱はなりませんでした。

近畿大会出場を逃がしました。しか

し、私たちには「近畿大会出場」とい

う新たな目標ができました。八月には

鳥取に合宿に行き、過酷な練習に励み

ました。

先輩方の引退後、十一月、一月には

駅伝がありました。昨年までは女子長

距離のメンバーがいませんでしたが、

今年から女子長距離のメンバーが増え、

女子も駅伝に参加することができます

。今年から女子長距離のメンバーが増え、

距離のメンバーがいませんでしたが、

今年から女子長距離のメンバーが増え、

女子も駅伝に参加することができます

。今年から女子長距離のメンバーが増え、

距離のメンバーがいませんでしたが、

今年から女子長距離のメンバーが増え、

女子も駅伝に参加することができます

## 女子バレー部

顧問 津田 康裕

五十七期生はよくがんばった、

他校と比較して、一時間あまり少

ない時間で、中味のある練習を続

けた。昼練習も自主練習の形態でスター

トしたが、勝つ意欲が定期的な練習へ

と移行した。たつた三十分しかない

が、一つのスキルを五日間続ければ、

二時間三十分の集中練習になつた。

私たちが目標としている「自己ベスト」

は達成できましたが、結果は惜しくも

2で完敗。雪辱はなりませんでした。

近畿大会出場を逃がしました。しか

し、私たちには「近畿大会出場」とい

う新たな目標ができました。八月には

鳥取に合宿に行き、過酷な練習に励み

ました。

先輩方の引退後、十一月、一月には

駅伝がありました。昨年までは女子長

距離のメンバーがいませんでしたが、

今年から女子長距離のメンバーが増え、

女子も駅伝に参加することができます

。今年から女子長距離のメンバーが増え、

距離のメンバーがいませんでしたが、

今年から女子長距離のメンバーが増え、

女子も駅伝に参加することができます

。今年から女子長距離のメンバーが増え、

距離のメンバーがいませんでしたが、

今年から女子長距離のメンバーが増え、

女子も駅伝に参加することができます

## 女子バレー部

顧問 津田 康裕

五十七期生はよくがんばった、

他校と比較して、一時間あまり少

ない時間で、中味のある練習を続

けた。昼練習も自主練習の形態でスター

トしたが、勝つ意欲が定期的な練習へ

と移行した。たつた三十分しかない

が、一つのスキルを五日間続ければ、

二時間三十分の集中練習になつた。

私たちが目標としている「自己ベスト」

は達成できましたが、結果は惜しくも

2で完敗。雪辱はなりませんでした。

近畿大会出場を逃がしました。しか

し、私たちには「近畿大会出場」とい

う新たな目標ができました。八月には

鳥取に合宿に行き、過酷な練習に励み

ました。

先輩方の引退後、十一月、一月には

駅伝がありました。昨年までは女子長

距離のメンバーがいませんでしたが、

今年から女子長距離のメンバーが増え、

女子も駅伝に参加することができます

組む姿勢は一学区でも抜き出ている。その成果は、大阪府立高校大会でベスト十六に進出したことや、練習試合で府下ベスト十六レベルのチームに勝つようになつたことに現れている。

五十七期生の土台に、五十八期生が乗つかり、次の五十九期生で見事な建物になる。伝統は作られる。

## 女子バスケットボール部

顧問 高橋 俊行

平成十六年度においては、中学校の女子バスケットボール部が来られて、合同練習をする事が増えました。豊中市のみならず、箕面市、池田市、大阪市からも来られ、『桜塚高の部員が中学生を指導する』という練習会が増えました。高校間においても合同練習の機会が増え、福井県の若狭高、藤島高や兵庫県、大阪府の高校十五校程のチームと合同練習を繰り返しています。

卒業生が増えてきて大学でプレーしている者、教員採用試験に合格してバスケットボールを指導している者など、違う環境でバスケットボールに関つてくれています。また時間に余裕が出来ると練習に参加してくれ、現役と一緒に汗を流してくれている卒業生も多くいます。部員達はケガに悩まされながらも練習に励んでおり、今年度の活躍が期待されます。

## 硬式テニス部

顧問 木下 義男

一、二年生の男子と女子部員だけで六十人を超す人数で、しかも男子は四十人近くで他校に比べると、コートで打てる時間が少なかつたように思える。そんな条件でも、部員達はよくが

んばつていた。

大阪高校春季大会、男子団体戦では、予戦を勝ち上がり、本戦へ進出した。本戦は、くじ引きによる対戦で、何と最もあたりたくなかつた、全国大

会常連校の清風が初戦の相手となつた。しかも、みんなが注目するセンターコートでの対戦である。しかし、試

合が始まると、最初のダブルスで五十七期生の幸野、丹羽コンビが先にマッチポイントをにぎり、結果的に7-5

のスコアで惜敗したが、清風をおおいにあわてさせた。続くシングルスの五十三期松尾と三宗は、相手が全日本で優勝した選手等であり、善戦したが、及ばなかつた。大会は、その後、清風

が圧勝で優勝した。桜塚はベスト三十ニどまりであった。しかし、全国レベルの学校と対戦したということと、その学校にダブルスの試合で勝ちかけた

ということは、生徒達にとっていい経験となり、自信となつた。女子の方もがんばつています。

## 音楽部

顧問 河村 光子

この会報をお読みになつておられる方の中には、音楽部が大活躍している頃をご存知の方も多数いらっしゃることでしよう。

吹奏楽は盛んになりましたが、合唱はいまひとつ元気がありません。私が本校に赴任した七年前には部員ゼロで廃部寸前というところでした。授業では楽しそうに歌い、美しいハーモニーを作つてくれていたので、何とか音楽部の生命を絶やすずにとの願いが生徒に届いたのか、三人の一年生が入部してきました。人数はなかなか増えませんが、文化祭や新入生歓迎会などで歌うことにより少しづつ前進しています。

以来、部員が急増している。

二〇〇四年度の部員は、三年合せで二十七名（女子十七名、男子十名）で、近年にない大所帯となつた。

三年前までは、女子のみのクラブで、一時は七名にまで落ち込んだが、現三年生（五十七期生）の男子が入部して

また一昨年六月より外部からコーチを招へいし、週一回技術指導を受けている。日頃の体力作りの方法や、プレー上の心構えなど幅広い視点から熱心な指導を受け、その成果が徐々に出てきている。昨年秋の豊能地区大会で

上位入賞を果たした。

大所帯故の悩みもある。体育館割り当てが週二回（しかも月曜日は短時間）、そのため充分な練習時間が確保できないことである。他の顧問（計六人）の方々の協力を得て、土・日・休日の練習を保障することで補つている。

一般的におとなしいが、全員で意欲的に練習に取り組んでいる。「自分の力はここまで」と見切るのではなく、さらに高いレベルに挑戦する気持ちを持つて欲しい、と願つていて。

O.B.の皆様、また学校にお越し下さい。お待ちしています。

## 朝鮮文化研究同好会

顧問 鎌田 順子

朝文研は、朝鮮半島の歴史・文化を学び視野を広げること、その活動を通して少しでも多くの人に朝鮮文化に触れるもらうことを目的として、本年度当たるが年に発足したばかりの同好会です。

その大きな目標は文化祭での発表して少しでも多くの人に朝鮮文化に触れてもらうことです。本年度

四年に発足したばかりの同好会です。

その大きな目標は文化祭での発表でした。演目は「ソルチャソラ」は「一つの」を表わし「チャソラ」は民族楽器の名前なので「ソルチャソラ」は「チャソラだけ演奏する」という意味です。楽器は全て大阪市立宮原中学校からお借りしました。

予定では夏休みから練習を始めるつもりでしたが、メンバー全員が三年生ということもあり、なかなか思うようには進まず、間に合うのか不安でした。しかし、いよいよ九月に入ると新メンバーも加わって、毎日昼休みを中心にして練習にも熱が入つきました。ほとんどのメンバーが楽器に触れたことともなかつた上、クラスの出し物や勉強との両立が大変でしたが、徐々に上達し音も合うようになりました。

そして当日、朝文研の紹介や楽器の説明をした後、見事に息の合つた演奏を多くの観客に披露することも出来、大成功でした。短い練習期間にもかかわらずよくやつたと思います。生徒たちも友だちから「迫力があつて良かった」「違う一面が見えた」と声を掛けられ、頑張つて発表して良かつた

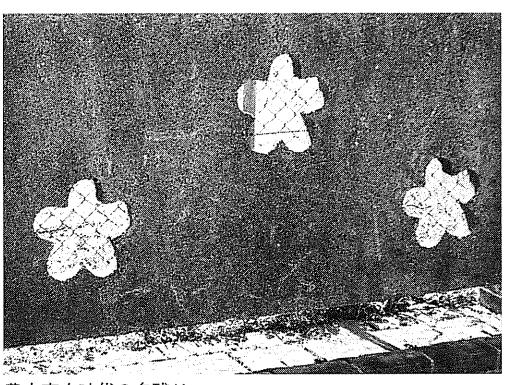
ていくのではないかと思ひます。

現在音楽部の練習は小さな部屋でピアノを囲んでやつっていますが、この部屋が狭くなつて困る日が早く来てほしいものです。

されたのにこのまま終わつてしまふのは残念です。生徒の皆さん、少しでも興味のある人はこの機会に入部しませんか？

と十分満足したようです。

韓国語やその他の文化も勉強したいと考えていた生徒たちでしたが、遂に実現しないまま今日に至つています。そして眼下の悩みは後継者がいないことです。せつかく発足し成果をあげたのにこのまま終わつてしまふのは残念です。生徒の皆さん、少しでも興味のある人はこの機会に入部しませんか？



豊中高女時代の名残り

**インターネットで学べる充実したコンテンツ**

- 学校教育  
小(国・算・理・社) 中(英・国・数・理・社)  
高(英・国・数・日本史・世界史) 道徳など  
こども科学ミュージアム、英会話、能力開発など
- 資格試験対策  
介護福祉、パソコン検定、自動2輪免許、普通自動車免許  
就職支援、初級シアド試験、理学療養、看護など
- 教養・趣味  
パソコン＆インターネット講座、Word・Excelの基礎  
英会話、ピーズアクセサリー、大学公開講座など
- 家庭・生活・健康  
家庭の医学、骨盤ストレngthening、親子で学べるクッキング  
洗濯掃除のコツ、ガーデニング（園芸）など20講座



**KOSAIDO**  
株式会社 廣済堂

大阪府豊中市並河西町2-2-1 TEL06-6855-1100 FAX06-6855-1324

平成17年度 評議員会及び理事会予定表	
評議員会	
第1回	17年9月3日(土) 会費制 会場未定
第2回	18年3月18日(土) 尚和会議室
理事会	
第1回	17年5月7日(土) 尚和会議室
第2回	9月3日(土) 会費制 会場未定
第3回	11月5日(土) 尚和会議室
第4回	18年1月15日(土) 新年理事会 会費制 会場未定
第5回	3月18日(土) 尚和会議室

植田 伸 熊野 金 篠田 伸 林 伸 荒西 転 戸田 全 松下 退 【全】 西郷 着 長瀬 (高) 退職

教職員人事異動(平成十七年度)

WEB 版非公開

竹陰山 金 園山 金 中田 退職 藤原 金 田中 金 森本 金 桑田 金 田中 金 西田 金 上西

WEB 版非公開

WEB 版非公開

上西 金 桑原 金 三村 金 田中 金 長石 金 吉野 金 鈴木 金 筒井 金 杉本 金 着 金 吉村 金 片山 金 森屋 金 転出

WEB 版非公開

東京支部長	会計	会計監査	副会長	尚和会平成十七年度	役員紹介
高一期 齋藤 良和	高二期 吉田 友子	高二期 久瀬 恵子	高一期 中岸 澄江	定期 田邊 渡	高一期 田中 渡
高二期 秋山 日東志	高二期 大畠 光昭	高一期 吉田 和久	定期 中岸 澄江	定期 田邊 渡	高一期 中村 千穂子
高二期 吉田 友子	高二期 久瀬 恵子	高一期 吉田 和久	定期 (広報担当)	(行事担当)	高一期 吉田 昭夫
高一期 吉田 友子	高一期 大畠 光昭	高一期 吉田 和久	定期 (財務担当)	(総務担当)	高一期 中村 千穂子

## 各期連絡先

期	氏名	電話									
一	一	一	二	二	二	三	三	三	四	四	四

WEB 版非公開



岡町商店街（市役所通り）ここを歩いて通学

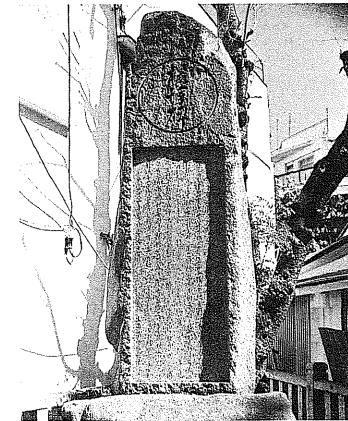


## 通・学・路・点・描

## 尚和会 平成16年度決算報告・17年度予算

[収支決算] (自:平成16年4月1日 至:平成17年3月31日) (単位:円)

科目	予算	決算	差引過不足	備考	17年度予算
収入の部	入会金	1,628,000	1,628,000	0	16年3月卒 (全日353名、定時54名) @4,000円
	会報代	1,400,000	1,801,000	401,000 1,801名	1,700,000
	尚和会協力金	1,800,000	2,396,050	596,050 1,066件	2,000,000
	広告収入	60,000	0	▲60,000	40,000
	利息収入	200,000	244,798	44,798	4,000
	雑収入	0	359,331	359,331 はむら野会144,614 旧職員有志の会204,717名簿	0
計					5,196,000
支出の部	事務費	100,000	9,049	90,951 事務用品	100,000
	振込手数料	110,000	120,500	▲10,500	120,000
	通信・交通費	350,000	282,234	67,766 会議案内等の葉書印刷、宛名シール、東京支部参加	300,000
	会合費	300,000	327,574	▲27,574 理事会及び各委員会会合費	300,000
	慶弔費	100,000	55,457	44,543 学校行事祝儀他	100,000
	会館維持費	50,000	0	50,000	50,000
	卒業生記念品代	100,000	80,000	20,000 卒業証書入れ	100,000
	会報発行費	2,200,000	1,934,030	265,970 11,000部、郵送7,727件	2,200,000
	総会費	700,000	653,183	46,817 食事、アトラクション、雑費	700,000
	東京支部援助金	150,000	150,000	0	150,000
	同期会開催助成金	500,000	400,000	100,000 50,000円×8件	500,000
	予備費	300,000	0	300,000	500,000
計					5,120,000
1. 差引当期収支	128,000	2,417,152	2,289,152		76,000
2. 前期繰越金	1,590,081	1,590,081			
3. (1+2) 合計	1,718,081	4,007,233			
4. 尚和会積立金等繰入		1,800,000		積立金へ1,000,000円、事業積立金へ800,000円	
5. 尚和会積立金等取消		0			
6. 次期繰越金		2,207,233			



桜塚碑（原田神社の東側に建つ）



豊中市役所



母校校舎



生徒通用門

以上、報告いたします。

監査の結果、誤りの無いことを報告します。

平成17年3月31日

平成17年3月31日

財務担当副会長(高13期)

細川和彦

会計監査(定13期) 中岸澄江

会計(高12期)

久瀬恭子

会計監査(高16期) 秋山日東志

会計(高12期)

吉田友彌

## 尚和会会報有料制について

財務担当副会長 細川 和彦

今お読みの尚和会会報は有料制です。

### ●名称 会報代

**●年1000円** 1,000円 (同封の払込用紙にてお振込み下さい)  
払込用紙紛失の方は郵便口座番号00930-3-31860 加入者名「尚和会」宛お願いします。

### ●会報無料発送対象期

卒業年	卒業期	会報発送期間
平成17年	高57期 定55期 定修5	平成17年から5年間平成21年迄
平成16年	高56期 定54期 定修4	平成16年から5年間平成20年迄
平成15年	高55期 定53期 定修3	平成15年から5年間平成19年迄
平成14年	高54期 定52期 定修2	平成14年から5年間平成18年迄
平成13年	高53期 定51期 定修1	平成17年のみ

### ●会報無料発送対象期

卒業年	卒業期	会報発送対象者
平成12年以前	高52期 定50期以前	当年度会報代・協力金納入者

なお、同期会に対する助成は同じ期が同じ周年時期に複数の場所で開催されても、尚和会からの助成金交付は、その期に対して一回限りです。また、クラス単位での開催も対象外です。

「同期会助成金交付申請書」受理後速やかに同期会開催迄に支払う。  
平成十三年度九月一日施行

五、助成金の交付  
開催する同期会の代表幹事が書面（同期会助成金交付申請書）にて、尚和会会長宛に同期会開催一ヶ月前迄に提出又は郵送する。

### 個人情報保護対策について

尚和会では、会の運営に必要な皆様の個人情報を預かりています。お預かりする個人情報は個人情報の保護に関する日本の法令その他の規範を厳守して以下の目的の範囲でのみ利用いたしますので、何卒、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 利用の目的について
  - ①尚和会会報の発行・発送
  - ②各役員会開催案内等の告知文書の発送
  - ③尚和会が会の運営を遂行するにあたり、必要とする年会費徴収
  - ④その他、会の活性化を図るため、必要と思われる作業等合法的な目的のために活用する場合
- ご提供いただいた個人情報については、尚和会が責任を持って管理いたします。
- 尚和会は、ご提供いただいた個人情報を正確に処理いたします。
- 尚和会では、信頼に足ると判断した外部の企業に、個人情報のデータ処理ならびに発送作業を委託することがあります。
- ご提供頂いた内容は、本人の承諾なしに学校・同窓会関係者以外の第三者に開示することはありません。  
ただし、以下のような場合は、例外として情報を開示できるものとします。
  - ・法令の規定による場合
  - ・ご本人ならびに公衆の生命、健康、財産等の重大な利益を保護するために必要な場合。
- 個人情報は、原則として本人にかぎり、開示・訂正・削除を求めることができます。

お問い合わせ先

〒561-0881 豊中市中桜塚4-1-1  
大阪府立桜塚高等学校内 尚和会事務局  
TEL06-6853-2244/FAX06-6853-0825

## 一、尚和会会報

### 無料配布

(卒業後五年毎)  
(再掲)

無料配布対象期  
その期が、卒業後五年経過ごとに、住所判明者を対象として全員に送付する。

とそれ以降会報が発送されなく、尚和会の先細りの懸念が生じはじめました。これを防ぐ手段の一つとして、財政の許す範囲という条件付きで平成十五年度より実施中です（効果が無ければ、見直すことになります）。

### お願い

会報有料制は引き続き継続されますので、無料配布に当たる期の方も、会報代・協力金は引き続き宜しくお願ひいたします。

また、ちょうど各期が五周年単位に当たる年の五月に、その期に対し会報が無料で送付されますので、「同期会開催予告」として二月末までに会報の原稿を寄せていただければと思います。

新生尚和会を構築し、創造的な事業活動を開拓するため、同期会の活性化に取り組む必要がある。その意味で、同期会の開催を支援、奨励する目的の制度である。

## 尚和会通信

広報担当副会長 大畠 光昭

## 二、「同期会開催支援奨励制度」

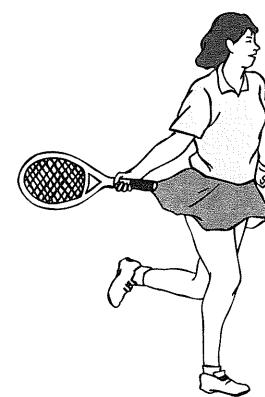
### (再掲)

## 三、在校生クラブ活動に報奨金制度

### (再掲)

クラブ活動に顕著な成績を残したクラブに、活動費の一部を助成する制度です。助成対象は府下大会にて優勝またはそれに準ずるものとします。

在校生諸君の活発な活動を期待します。



	高女 1期~8期	併中 1期~2期	高 1期~57期	定 1期~55期	定通併修 1期~5期	旧職員	現職員	現職員 (定時制)	合計
会員数	2,061	229	26,022	4,201	66	711	36	19	33,345
物故者	363	18	618	88	0	146	0	0	1,233
住所不明者	241	31	5,576	2,061	8	180	0	0	8,097
住所判明者	1,457	180	19,828	2,052	58	385	36	19	24,015
判明率	88.3%	86.5%	78.5%	50.9%	87.8%	74.6%	100.0%	100.0%	75.7%

尚和会会員数  
(単位人)





ホテル心づくしの料理に舌鼓をうち、楽しく歓談しているうちに時間は過ぎゆき、いよいよ終わりが近づいて、各クラス毎に一・四組・五・八組の二グループに分けて、小塩君の手による記念撮影となつた。

最後に校歌を全員で合唱し、五年後の再会を約して約三時間に及ぶ祝賀会は閉宴となつた。それでも名残つきない人々は、それぞれ二次会に流れ、いつまでも語り合つた様だつた。

五年後にまたお互ひ元気でお会いしましよう。

## 高校十一期 卒業四十五周年同期会

吉田 和久



母校桜塚高校を昭和三十四年（一九五九年）に卒業して、四十五周年となりました。

それを記念して、新緑萌える昨年六月十二日（土）に「千里阪急ホテル」において、「記念同期会」を開催いたしました。二名の恩師と六十八名の同期生が参集し、昔の記憶を手繕り寄せ、モノクロ画面を総天然色に染めながら、懐かしい思い出話に時を忘れました。

今回は三年振りの開催でしたので、東西の遠方からや、近くに住みながらごろご無沙汰している皆さんと、尽きぬ話に夢中になる内に、決められた時間も過ぎ去り、後ろ髪を引かれる思いで会場を後にしました。

本年の四月には、東京でも第一回の「十一期東京支部総会」を開催するという、嬉しい話も聞いております。

## 高校十六期 卒業四十年同期会

幹事一同

次回は五十周年記念ですが、中間年でも集りたいという希望が多く寄せられております。そこで来年の十一月頃に同期会を開くべく、計画をしております。世話役の会合で決めて、次年度の会報に詳細を記載する予定ですので、沢山のご参集をお待ちしております。

## 高校二十七期

日時…平成十六年十一月二十一日  
場所…プラザホテルオーパカ  
出席者…八十四名

でも集りたいという希望が多く寄せられております。そこで来年の十一月頃に同期会を開くべく、計画をしております。世話役の会合で決めて、次年度の会報に詳細を記載する予定ですので、沢山のご参集をお待ちしております。

関東在住の皆さんには朗報ですので、是非参加されて旧交を温めて頂ければと思います。

二次会も、同ホテルの別室で、竹川貴美恵さんが所属する「ランブリング・フェローズ」による六十年代のジャズバンドを楽しみました。オープンスペースでは、数組のカップルによるダンスが披露され、時間は、あつと言葉間に過ぎ、久しぶりに友情を深めた一時でした。次回もより多くの皆様にお会い出来ることを、楽しみにしていきます。

十七名の集いとなりました。まだまだお元気な水田先生のご挨拶、乾杯の後、食事・歓談に入りました。仕事・親の介護・孫の誕生などで、やむなく欠席された方もおられましたが、何十年ぶりと言う方もおられました。多くは十八歳にタイムスリップ、楽しい一時を過ごしました。中務公子さんからは、還暦記念誌の発行予定、更なる協力お願い等の報告がありました。そして、上野山寿樹君が、次期代表幹事として紹介されました。

第三次も、同ホテルの別室で、竹川貴美恵さんが所属する「ランブリング・フェローズ」による六十年代のジャズバンドを楽しみました。オープンスペースでは、数組のカップルによるダンスが披露され、時間は、あつと言葉間に過ぎ、久しぶりに友情を深めた一時でした。次回もより多くの皆様にお会い出来ることを、楽しみにしていきます。

今年度は、二回目の開催でした。第一回は、東京でも第一回の「十一期東京支部総会」を開催するという、嬉しい話も聞いております。



## 定期制第九期同窓会

日時…平成十六年五月三十日  
場所…箕面観光ホテル  
出席者…十八名

話しきりない気持ちを抱いたまま再会を約して解散しました。

今回の同期会開催に際して、尚和会から補助をいただきました。お礼申し上げます。

平成十六年五月三十日、箕面観光ホテルにて予定通り午後六時より一泊で開催いたしました。

参加者十八名、和気藹々と宴が酣となつてくるとカラオケタイムとなり、美声の持ち主が青い山脈や、高校三年生を唄い終わるや、同時に夢多き青春時代にタイムスリップ。しかし楽しいことより苦しいことの方が多い、互いに励まし、慰めあって苦痛・苦難を乗り越えてきたこと等々が楽しい思

会が始まるとき同時に長年の空白が埋まつて談笑の輪が出来、あつという間のひとときでした。先生方にもゆっくりお話を頂けなくて残念でした。それぞれに

以上の様な影響も多少はあるだろうが、それよりも家庭や職場の事情、又は金銭的な原因であつたのだろうか、同時入学の多くの友が不登校となり、次第に退学を余儀なくされたことは無念であったと思う。しかし皆んなそれぞれの経験で少々の事ではへこたれぬ忍耐力はしつかり身についたと自信できる。

懐かしい思い出話しも下火となり、宴もお開きの時間になつてきたので同期会の報告へ戻します。一九九九年よ

平成十六年八月二十二日(日)午後一時より豊中のホテルアイボリーにて、第三十四回桜塚高校旧職員有志の会総会が開催され、案内状送付六十三名中二十七名が出席、近況報告を添えた欠席の返事が二十九名ありました。

本会は、元桜塚高校社会科教諭の故近松淳一先生が桜塚高校から大手前高校に転勤された後「桜塚高校のその後の発展状態を知り度いの思いで」(「後は近松先生ご文より引用、以下同)、故近藤宏先生、吉本清先生と語らい、

桜塚高校旧職員有志の会  
第三十四回をもつて閉幕

昔話の中でもっとも印象に残っていることに、真夏の茹でる様な暑さが夜になつても涼風も吹かず、蒸さくるしい中で時には先生のすばらしい話しついウットリと……ではなくついウットリしてしまい、先生を悲しませることしばしばだった。冬はまた手先と

り毎年開催しておりますが、参加者の  
顔触れが決まりつつあります。

「斗酒なお辞せず」といわれますが、  
我同窓生で大酒飲んで騒いだり喧嘩を  
するタイプの友は一人たりともおらん  
ので、どうか気軽に昔の思い出話しに  
華を咲かせに是非ご参加下さる様お願  
い申し上げます。

最近、忘れ物をすること日常茶飯  
事、もつとすごい人はメガネをしつか  
りかけて いるのに、どこに置いたと探  
し終わって己の年齢を知るタイプが増  
加中。我々兎に角あわただしく過ごし  
てきて忘れかけている日本人独特の感  
性である「わび・さび」を具現化した  
く思います。



A group photograph of approximately 25 people, mostly elderly, posed in three rows indoors. The front row is seated, and the back two rows are standing. They are dressed in a variety of casual and semi-formal attire.

り度い」との思いから当時現役の先生方に声をかけ、参加者は多い年で三十四名、案内状送付は七十名に及びました。さらに、第二十九回からは、旧女子職員にも参加を呼びかけ、会の名称も当初の「桜塚高校O B有志の会」から現在の呼称に変わりました。

本会は以上ののような経緯をたどりましたが、その間一貫して流れていたのは、故近松淳一先生をはじめとする有志の会全員の桜塚高校に対する「熱い思い」です。毎年の総会では、再会を祝し、桜塚高校や会員の近況を語り合い、記念写真を撮影しました。その後、「総会報告」と題して、出席・欠

昭和四十六年（一九七一年）十一月二日天王寺の「知利十里」で十九名の桜塚高校OBと会を結ばれたのが発端です。第二回から第二十八回まではすつと庄内の「大北京」で開かれ、第二十九回から会場を豊中の「ホテルアイボ

ここに謹んで桜塚高校旧職員有志の会より桜塚高校尚和会に、二十万四千七百十七円を寄付させて頂きます。幹事 吉本清、弓庭栄夫

「ほむら野会」

高女五期 広実 輝子

三人で話し合った際（弓庭は第二十四回から幹事）、近松先生より「本会を閉じる際は、本会の会計残金は全額、桜塚高校尚和会に寄付したい」との申し出があり、他の二名もそれを了承したという経緯がありましたので、最後の第三十四回総会でその旨正式に提案し賛同されました。

ここに謹んで桜塚高校旧職員有志の会より桜塚高校尚和会に、二十万四

震災後援、アムネスティ、たんぽぽの会等に寄付し、この度、残金を尚和会に贈り、終了することに致しました。  
長く御協力頂きました尚和会に深く御礼申し上げます。

二〇〇五年三月

席を問わずすべての会員に、近松先生のご文を冠した総会や会計の報告、会員の近況報告の文章を載せたプリント、および記念撮影写真等を郵送しました。（第三十四回総会報告書の冒頭は、元桜塚高校国語科教諭の水田紀久先生の「お開き」と題するご文で飾らせて頂きました）

しかし、非常に残念なことに本会創設者の近松淳一先生が、平成十五年十一月十日に享年八十五歳でご逝去になられましたのを機に、惜しむ声も多々聞かれましたが、本会を閉じることになりました。故近松先生のご生前、第二十六回総会（平成八年）のあと、近松先生・吉本先生・弓庭の幹事

行き兵器を作りました。一九四五年六月の大坂空襲で動員中の生徒七人が亡くなり、多くの負傷者を出し八月十五日終戦となりました。

しかし、その記録は学校に残されていませんでした。当時共に生きた者の義務として、その記録を残すべきだと戦後三十年の一九七五年「ほむら野に立つ—大阪府立豊中高女学徒動員記」を三千冊刊行しました。好評を得て「平和図書館・戦争と平和・市民の記録 全二十巻」(日本図書センター)の中に入り、大阪府教育センター「大阪の文学」(近現代篇)の中にもとりあげられています。思いがけぬ余剰金で桜塚高校にプロンズの少女像「ほむ



第4回 尚和会東京支部  
総会・懇親会

四回目の支部総会・懇親会が昨秋十月の末、東京銀座のレストランで開催されました。支部結成（一九九七）以来、八年目となり、過去三回は会場としてホテルを利用してまいりました。今回は「銀座」気分で、リラックス・より親しみ易い雰囲気の中で、

四回連続の同窓生出演は大好評で、五

回以降も続けていきたいものです。

「参加しやすい同窓会」を合言葉に企画した本会の締めくくりは、全員参

加の「福引」大会、仁勇師匠に再度の

出番を願って、進行役をお引受けいた

だきました。

支部の活性化につながるための、

活動のモットー「同期会の開催によ

り、同窓会の輪を広げよう」というこ

とでも、高女一期・高二期・高七期・

高十一期・高十三期・高二十四期など

声をかけ合つての、同期の集いがありま

した。これからも、一つでも多くの同期会が併催されて、支部の発展に拍

車がかかればと思います。そういうこ

とで、初の試みとして、案内状に、卒

期別名簿を、各期別に同封してみまし

た。懐かしい名前をみつけて、会への参

加を促してほしい……、そんな気持ちからでした。

学校からは長瀬尚校長（二度目）、尚

和会本部から、田中会長、吉田副会長、

中岸会計監査、及び初めて評議員か

ら、前議長の金原氏をお迎えしました。

校長先生からは、母校近況として

「自主自律精神旺盛な気風も健在、特

に昨年度は進路実績も大幅な伸びを示

した」ことなど、心強い話しへ伺うこ

とが出来ました。

来賓各位からは、参加者の熱気（会場のためかな？）と、協力金など

でバックアップして下さる、多くの支

部会員の存在の大きさに暖かいエール

を送っていました。

支部運営につきましては、より創

## 「第四回 尚和会東京支部総会・懇親会」

—100周年（平成十六年）十月三十一日（日曜日）

前尚和会東京支部 支部長 井上 真一（高七）

四回目の支部総会・懇親会が昨秋

上げました。

十月中旬、東京銀座のレストランで開催されました。支部結成（一九九七）以来、八年目となり、過去三回は会場としてホテルを利用してまいりました。今日は、「銀座」気分で、リラッ

クションに、同窓生の出演がかないました。高二十九期・笑福亭仁勇（山澤健二）師匠の「大道芸」が、銀座の夜をぎやかに色どってくれました。

四回連続の同窓生出演は大好評で、五回以降も続けていきたいものです。

「参加しやすい同窓会」を合言葉に企画した本会の締めくくりは、全員参加の「福引」大会、仁勇師匠に再度の

出番を願つて、進行役をお引受けいた

だきました。

会には、大阪から、尚和会元会長

ユリ様も出席され、お心のこもった激励のご挨拶と乾杯の音頭をとつていた

だきました。

支部の活性化につながるための、

活動のモットー「同期会の開催によ

り、同窓会の輪を広げよう」というこ

とでも、高女一期・高二期・高七期・

高十一期・高十三期・高二十四期など

声をかけ合つての、同期の集いがありま

した。これからも、一つでも多くの同期会が併催されて、支部の発展に拍

車がかかれればと思います。そういうこ

とで、初の試みとして、案内状に、卒

期別名簿を、各期別に同封してみまし

た。懐かしい名前をみつけて、会への参

加を促してほしい……、そんな気持ちからでした。

学校からは長瀬尚校長（二度目）、尚

和会本部から、田中会長、吉田副会長、

中岸会計監査、及び初めて評議員か

ら、前議長の金原氏をお迎えしました。

校長先生からは、母校近況として

「自主自律精神旺盛な気風も健在、特

に昨年度は進路実績も大幅な伸びを示

した」ことなど、心強い話しへ伺うこ

とが出来ました。

来賓各位からは、参加者の熱気（会場のためかな？）と、協力金など

でバックアップして下さる、多くの支

部会員の存在の大きさに暖かいエール

を送っていました。

支部運営につきましては、より創

懇親会には、四回目の当会も、アトラクションに、同窓生の出演がかないませんでした。高二十九期・笑福亭仁勇（山澤健二）師匠の「大道芸」が、銀座の夜をぎやかに色どってくれました。

四回連続の同窓生出演は大好評で、五回以降も続けていきたいものです。

「参加しやすい同窓会」を合言葉に企画した本会の締めくくりは、全員参加の「福引」大会、仁勇師匠に再度の

出番を願つて、進行役をお引受けいた

だきました。

会には、大阪から、尚和会元会長

ユリ様も出席され、お心のこもった激励のご挨拶と乾杯の音頭をとつていた

だきました。

支部の活性化につながるための、

活動のモットー「同期会の開催によ

り、同窓会の輪を広げよう」というこ

とでも、高女一期・高二期・高七期・

高十一期・高十三期・高二十四期など

声をかけ合つての、同期の集いがありま

した。これからも、一つでも多くの同期会が併催されて、支部の発展に拍

車がかかれればと思います。そういうこ

とで、初の試みとして、案内状に、卒

期別名簿を、各期別に同封してみまし

た。懐かしい名前をみつけて、会への参

加を促してほしい……、そんな気持ちからでした。

学校からは長瀬尚校長（二度目）、尚

和会本部から、田中会長、吉田副会長、

中岸会計監査、及び初めて評議員か

ら、前議長の金原氏をお迎えしました。

校長先生からは、母校近況として

「自主自律精神旺盛な気風も健在、特

に昨年度は進路実績も大幅な伸びを示

した」ことなど、心強い話しへ伺うこ

とが出来ました。

来賓各位からは、参加者の熱気（会場のためかな？）と、協力金など

でバックアップして下さる、多くの支

部会員の存在の大きさに暖かいエール

を送っていました。

支部運営につきましては、より創

りのために、新しい息吹が必要である

と考えておりましたが、平成十七年度

より、新リーダー（支部長）・齊藤良

和（高十一期）さんの下、十一期以降

卒の実行幹事、役員の方々にお引受け

頂くことに致しました。

「創会」時代から、十数年に亘り、

ご指導、ご協力頂きました、諸先輩、

同窓生の皆様、並びに長い間、支部の

幹事役員を務めていた方々に、

誌上をお借りして心より厚く御礼申し

上げますと共に、新しいスタッフ一同

につきましても、尚一層のご支援とご

鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

同窓生の皆様、並びに長い間、支部の

幹事役員を務めていた方々に、

誌上をお借りして心より厚く御礼申し

上げますと共に、新しいスタッフ一同

につきましても、尚一層のご支援とご

鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

終わりに、今回も多数の支部会員

（二百十三名）より、支部への協力金を

賜わりました。厚く御礼申し上げます。

第五回は二〇〇六年に開催します。

○支部連絡先

井上 真（高七）

日時：平成十七年五月二十三日（月）  
受付 十一時三十分より

会場：ホテル阪急エキスパーカ  
TEL 06-6878-5151（代表）

会費：一〇、〇〇〇円

十七年度幹事

田畠 照野（旧伊藤） 長岡 利子（旧茨木）  
岡田 貞子 山川 良子（旧河方）  
酒井百合子（旧横尾） 大久保慶子（旧吉田）

高女四期生のみなさんへ

お元気ですか。昭和二十年終戦の年に卒業してから、はや、六十年になります。この記念すべき同期会を、皆さんと共に開催いたしました。ご案内申し上げます。

卒業後の六十年は、それぞれ、終

戦による社会や教育の急変に、人々の考え方の変化に揉まれてすごした人生

を考えています。

尚和会会報

同窓会予告

開宴 十二時

写真撮影 十一時四十五分

場所：ホテル阪急エキスパーカ  
TEL 06-6878-5151（代表）

会費：一〇、〇〇〇円

十七年度幹事

田畠 照野（旧伊藤） 長岡 利子（旧茨木）  
岡田 貞子 山川 良子（旧河方）  
酒井百合子（旧横尾） 大久保慶子（旧吉田）

高女四期生のみなさんへ

お元気ですか。昭和二十年終戦の

年に卒業してから、はや、六十年にな

ります。この記念すべき同期会を、皆

さんと共に開催いたしました。ご案内申

し上げます。

卒業後の六十年は、それぞれ、終

戦による社会や教育の急変に、人々の

考え方の変化に揉まれてすごした人生

を考えています。

尚和会会報

同窓会予告

開宴 十二時

写真撮影 十一時四十五分

場所：ホテル阪急エキスパーカ  
TEL 06-6878-5151（代表）

会費：一〇、〇〇〇円

十七年度幹事

田畠 照野（旧伊藤） 長岡 利子（旧茨木）  
岡田 貞子 山川 良子（旧河方）  
酒井百合子（旧横尾） 大久保慶子（旧吉田）

高女四期生のみなさんへ

お元気ですか。昭和二十年終戦の

年に卒業してから、はや、六十年にな

ります。この記念すべき同期会を、皆

さんと共に開催いたしました。ご案内申

し上げます。

卒業後の六十年は、それぞれ、終

でしたが、ここでは、女学校時代を思  
い出しましょう。

昭和十五年、乙女の夢のように美しく、完成したばかりの新校舎に、スマートな制服・制帽（ステーブル・ファイバー混紡）、おかっぱ頭で入学。正門、八絃門、赤瓦の屋根、薄緑の壁、三つの鐘の音、桜花透かしの外壁、恩露園、惠風園、報国神社、奉安殿、体育館（薙刀が二階に立ち並ぶ）、弓道場、農作業場（生野仮校舎とか）、南庭の芝生に他、校庭の隅のブランコなど懐かしい風景が、つぎつぎと、頭に浮かびます。

皆さんも、さすがに思い出されることがあります。そんなことと、こんなことを語り合いましょう。

戦中・戦後の思い出したくないつらいこともあります。

ことも、半世紀経た今日では、苦しみは薄れ、軍国乙女の少女時代にも、楽しい思い出がいっぱいあつたように思います。

このたびの四期生会において、変わらぬ友情を温め合い、これからも助け合う事を誓いましょう。では、皆様の笑顔を、お待ちしております。

樱花会（高女八期）

日時…平成十七年六月六日

十一時半集合寫真

場所 .. 千里阪急ホテル  
会費 .. 一〇、〇〇〇円

今年もイベントを企画します

人は全く知らない芸人さんです。樂しく

みにして居て下さい。我々先輩と云う事でかなり緊張されていきます。暖か

高校七期生「卒業五十周年七期会」

午後一時（三時）

会場・リバーガーデンヤルホテル

詳細は又御案内致しますが、前会の四十五周年の盛会、ご芳づ皆々様の

多数の御出席を御願い致し期待して居  
る。

尚、クラス世話人の方々も、何卒

よろしく御協力下さい 御願い致しま  
す。 七期生理事一同

七期生理事一同

九

# WEB 版非公開

**お便りから**

平成十六年四月から平成十七年三月までにお送り頂いたものの中から掲載しています。



見えます  
が欠席致  
ます。私  
ろしく。

つ。もつ  
尚和会

公开

でも知つ  
を樂しみ  
の益々の  
教職に

会報あ  
の色はも  
と思いま  
いつも  
茶道部の  
年八月二  
行なわれ  
人で多く  
おります。

卒業し  
うか?「  
思い出し  
です。」

未だR  
事をして  
います。

# WEB版非公開

まだ「ぬ  
もう」  
何とか  
ています。

会報や  
先輩の  
となつぶ  
となくして  
桜を目に  
なり地獄  
三十年経  
ます。」

# WEB版非公開

二〇〇〇  
す予定で  
娘の詩  
が終わり  
が始まス  
達とラン  
最近、  
せる素振  
し、広告  
が多くあ  
したが。

野球部  
していま  
平成十  
学しまし  
いて、昔  
です。

夫の転  
知から移  
が、移る  
もありが  
もと今よ  
しましわ  
のですが  
ここの物  
一ジにな  
ります。

# WEB版非公開

通つて  
併でなく  
も変わつ  
がまだ生  
いたいも  
なり受験  
つていた  
んきな長  
今年四  
春川・ソ  
た。今年  
あたり、  
益々交流  
ます。

いつま  
お世話」  
ギー、「  
き、又、  
少々色々  
の「夜泣  
こにも行  
んでいキ  
でも、あ  
いろあつ  
た。開催  
た。下川先  
生母校大  
日に箕面  
た。

# WEB版非公開

(平成16年1月1日～12月31日まで)

平成十六年物故者芳名

WEB版非公開

平成十六年度 会報代・協力金

◆協力金をありがとうございます  
(金額は納入合計額)

# WEB 版非公開

**WEB 版非公開**

**WEB 版非公開**

**WEB 版非公開**

**WEB 版非公開**

**WEB 版非公開**

☆追記  
以上掲載の内、二重に納入いただいた方

三十九名（主に東京支部会員）がおられます。この二重納入分は一旦預り金として会計処理し、翌十七年度分の会報代・協力金として入金処理いたします。  
返金等を希望される方は、尚和会宛ご連絡ください。  
総務担当副会長（高十一期）吉田和久  
財務担当副会長（高十三期）細川和彦



校歌作詞者永田俊夫氏（高5期）

行事委員 柳井真知子

平成十六年度の総会・懇親会は、五月十六日（日）にホテル・アイボリーにて開催されました。

来賓・会員合わせて、八十名の御参加を頂き、終始和やかで明るく楽しいパーティになりました。

中でも印象に残ったのは、わが母校のあのすばらしい校歌を作詞して下さった、高校五期の永田俊夫さんが来られたり、当時の担任の井上まさ先生より御紹介して頂いたことです。

又、校歌の作詞・作曲が、私達の先輩であることに驚き、それをお聞きして校歌によりいつそう親しみを覚えました。

さて、昨年のアトラクションの出演者は、卒業生の方ではなかつたのですが、男女三人のヴォーカルグループの「アヴァロン」の皆様で、とても華やかでリズミカルな舞台に会場も盛り上がり、皆様に喜んで頂きました。今年は高校三十二期の日比浩一さんをお招きして、バイオリンの演奏をお楽しみ頂けるものと思つております。どうぞ皆様、特に三十二期の同期の方々、お誘い合わせて御参加下さいますよう、お願い致します。

## 平成十六年度新年理事会

行事担当副会長 中村千穂子

平成十七年一月十六日（日）ホテルクラifton新大阪で新年理事会が開催されました。

校長、教頭先生をはじめ学校のことになりました。続いて総務・財



編集後記

今号より紙面・字体ともワンサイン大きくしました。掲載字数で約一万字分ほど増えたことになります。皆様からいただいた原稿もほとんど全て掲載出来るようになり、同期会の集合写真も少しは見やすくなりました。

最後はいつものように全員で校歌を斉唱して新年理事会は無事終了しました。

何かと恐ろしいことが多い世の中、皆様の御健勝と共に母校の発展を祈るのみです。

方々六名と会員五十名の御出席を頂き、誠に有難うございました。

校長先生の御挨拶に始まり、続いで会長の挨拶の後、行事委員会の事業報告では、今年の尚和会総会のアトラクション出演者紹介をいたしました。

バイオリニストの日比浩一さん。高校三十二期生で名古屋フィルハーモニーのコンサートマスターです。日比さんは第三十二回全国学生音楽コンクール西日本大会で二位に入賞の実績を持ちで、実は去年もお願いしたのですが、海外公演の日と重なったので今年こそ是非にお願いし、出演して頂くことになりました。

▼若い期からの投稿をお待ちしています。尚和会活性化に若い期の力を貸し下さい。

大畠光昭